令和５年９月１４日

徳島大学 教職員

ＳＰＯＤ加盟校 教職員　各位

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　徳島大学ＦＤ委員会委員長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　齊　藤　隆　仁

令和５年度徳島大学全学ＦＤ推進プログラム

「第１９回大学教育カンファレンス in 徳島」 研究発表者の募集及び参加について（ご案内）

徳島大学では、これまでの教育活動の成果を検証し、教育実践研究を充実・発展させる機会となるよう、本学や他の高等教育機関で行なわれている教育実践の先駆的な取り組みを共有し、大学教育の質的向上に向けた努力の成果を確認するための大学教育カンファレンスを開催します。また、今年度もＳＰＯＤ（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）の研修プログラムの一環としても実施します。教職員・学生の皆様の積極的な参加をお待ちしています。（なお、このプログラムでの発表は、徳島大学教員業績評価の際、国内学会での発表と同等の扱いとなっています。）

１．会期・会場

会期：令和５年１２月２６日（火）

会場：教養教育４号館、地域創生・国際交流会館 　一部、オンライン配信を実施（Ｚｏｏｍ）

２．スケジュール（予定）　※研究発表の申込数によって時間帯が変更することがあります。

|  |  |
| --- | --- |
| 8：30 ～ 9：00  9：00 ～ 9：10  9：15 ～ 10：15  10：30 ～ 12：00  13：00 ～ 14：00  14：15 ～ 15：35  15：50 ～  　（適宜休憩含む）  　～ 17：50 | 受付  挨拶：長宗 秀明　副学長（教育担当）  研究発表Ⅰ（口頭発表）　　　　　　　　　　　　（オンライン配信あり）  ワークショップ　　　　　　　　　　　　　　　　（企画者が選択可能）  ポスター発表　　　　　　　　　　　　　　　　　（対面限定）  研究発表Ⅱ（口頭発表）　　　　　　　　　　　　（オンライン配信あり）  特別講演：「新しい対面授業を考える」　　　　　（オンライン配信あり）  東京理科大学　教授　渡辺　雄貴　先生  ディスカッション（講演に対する質問や授業実践に関する困りごとなど）  コメンテーター：渡辺　雄貴　先生　ほか |

３．特別講演

  東京理科大学教育支援機構・教職教育センターの渡辺雄貴先生にご登壇いただき、「新しい対面授業を考える」と題して講演をいただきます。先生は、教育工学・授業設計をご専門とし、テクノロジーを組み合わせて、学生にとって最適な学習環境を構築するという観点から、「新しい対面授業」を提案されています。アフターコロナにおいて対面授業が再開される中で、単なる対面授業への回帰を避けるためにも、コロナ禍の経験を活かすことは重要であり、これからの大学教育や授業運営における示唆を得る機会となることが期待できます。

４．研究発表

（１）研究発表の形式： 研究発表の形式は、口頭発表、ポスター発表があります。また、教育実践のため

　　のワークショップによる発表も受け付けます。

（２）実施方法：

① 口頭発表は、発表時間は15分、質疑応答3分です。発表は原則発表会場にて対面で実施しますが、特別な理由がある場合は、オンラインでの発表を可能とします。また、オンライン配信を行います。

② ポスター発表は、滞在責任時間は１時間です。発表会場での発表のみとし、オンライン配信は行

いません。

　　　③ワークショップは、90分間とし、実施方法やオンライン配信等は企画者が選択可能です。

（３）発表要件： 発表者は、常勤・非常勤を問わず、高等教育機関の教職員、学生、大学院生及び社会人（ただし社会人については、事前審査等を行う場合があります）とする。

（４）発表内容：教養教育、学部教育、大学院教育、公開講座等の授業に関わるもの、また、職員や学生の能力開発に関わるもので、教育改善・授業改善や、職能開発に関する実践報告にとどまらず、実践成果の評価の分析、および考察を含む発表であること。

（５）研究発表の申し込み

①「第１９回大学教育カンファレンスin徳島 発表申込フォーム」に必要事項を記入してお申し込みください（ <https://forms.office.com/r/J6kuUMyymA> ）。なお、連名発表の場合は、第１発表者の方のみお申し込みください。発表の可否については、記入いただいた連絡先に大学教育カンファレンスin徳島事務局より連絡いたします。発表申し込みの〆切は令和５年１０月１３日（金）です。

②発表内容の抄録原稿をＡ４用紙２枚（45字×45行）にまとめ、令和５年１１月２日（木）までに、ＰＤＦ形式に変換して提出してください。（抄録テンプレートについても、同様に、徳島大学全学ＦＤ推進プログラムホームページより入手可能）なお、抄録は事前に徳島大学全学ＦＤ推進プログラムホームページに掲載します。

５．お問い合わせ・連絡先

　　【大学教育カンファレンスin徳島事務局】

大学教育カンファレンスin徳島事務局

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地　徳島大学学務部教育支援課教育企画係

TEL: 088-656-7686　（内線：82（常三島）-7125）　FAX: 088-656-7688  
　　　　E-mail: kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

６．主　催

徳島大学ＦＤ委員会

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

※抄録原稿の体裁について  
（抄録テンプレートはhttps://www.tokushima-u.ac.jp/highedu/reform/fd/docs/51025.html からダウンロードできます。）

抄録レイアウト

上余白25mm

22文字

　程度

表題（MSｺﾞｼｯｸ、16pt）

※副題（MSｺﾞｼｯｸ、16pt）

著者名（MS明朝、12pt）

所属（MS明朝、12pt）

（本文）

MS明朝、10.5pt

下余白

20mm

(1) 原稿の1枚目に、表題、著者名、所属を記載する。

左余白

20mm

(2) 1頁1, 800文字程度（図表が入る場合はこの限りではない）でA4用紙**2頁**とする。

(3）本文の文字は、MS明朝体10.5ポイントを使用する。タイトルは、MSゴシック体16ポイント、章節項等の見出し及びキーワードは、MSゴシック体10.5ポイントを使用する。

(4）本文は、原則として2段組とし、章節項等の見出しの上は1行空ける。また、本文は、見出しの後に行を空けずに記述する。

2段組みでおよそ2文字分

あける

(5）原稿は、必ずPDF形式に変換して、大学教育カンファレンスin徳島事務局までE-mailの添付ファイルで提出する。

右余白

20mm

（本文）

20mm

下余白

20mm

右余白